

ぽけっと

発行 2015年 9月 30日

編集 特定非営利活動法人

ママサポートえふろん事務局

発行責任者 帯谷昭子



グループホームうらら花 10年を迎えて

グループホームうらら花 施設長 堀井 和明

うらら花開設1年後の平成18年4月に管理者としてお世話になりました。まだグループホームと言う制度の歴史が浅く、同業種の方からも「どんな所?老人ホームと何が違う?」と聞かれる程度の認知度でした。

当時の利用者さんはとても活発で個性豊かで、畠仕事、買い物、外食、魚釣りなど遠距離まで遊びに行き、まるで仕事をダシに職員が楽しんで利用者さんを振り回しているぐらいの勢いも感じられました。そんな中、利用者本人の楽しみを追求するあまり、利用者個人の意向と施設としての管理はどこまでなのか、明確にライン引きできない問題を職員同士で悩んだことを思いだします。一番に悔やまれたのが、いつも不安で落ち着きがない利用者さんが、やっとうらら花の生活に慣れ活き活きし始めた頃に、他の施設へ入居することになったことです。入居の理由は、将来(終末)のことを見据えて医療体制があるからでした。まだまだうらら花で生活が送れる方だっただけに残念であり、ケアの質では負けない自信がありましたが、それは優先事項ではない場合もあることを思い知られました。

この10年で様々な問題があり、それらを経験させてもらうことで、うらら花の特徴ができ、問題に対する免疫を養ってきた10年だったと思います。

ご縁があり今まで27人の利用者とご家族、地域の方々がうらら花を成長させていただきました。この貴重な経験を絶やすことなく、今後10年、更に先へと進んで行きたいと思っていますのでどうぞ長い目で、温かいご支援をよろしくお願ひいたします。



十周年に際しまして、ご家族
の皆様・運営推進会の皆様は
じめ、多くの方に温かい祝福
をいただきましたことを、心
より感謝申し上げます。



祝！まんてん食堂オープン！！

年間シリーズ第2回

前回、フリーライフ結成～今後のプロジェクトのご紹介をさせていただきましたが、今回は地域食堂まんてん開業とこれまでの『軌跡』をご紹介させていただきます。

1. 「食」でつながるサロンづくり

週1回銀河サロンは開催されていましたが、常時オープンしているサロンは本別には無く、日中気軽に集える場所がありませんでした。そこで私たちは「食」のつながりを大切にした「いつでも、だれでも、気軽に」をモットーにサロンスペースを作ることを決意



しました。まず、私たちが考えたのがサロンを開設するにあたってどこがいいのかという場所の検討を行いました。やはりサロンとなると、地理的にも町民の方が来やすい場所を検討しましたが、貧弱団体が故にお金も何も無い状態なのでとても苦労しました。

メンバー各々が町内の空店舗などを見つけてはチェックし、使用できるかどうかの検討を行ってきました。そんな中、国道沿いのしかも本別の一等地に旧建設会社の事務所が空いており、私たちはこの場所なら！という思いで所有者である建設会社の社長に連絡を取り、フリーライフの思いを説明したところ、社長も私たちの思いを汲んで下さり快く賃貸を了承してくださいました。当初はお金も無い団体が自分たちの拠点を持てるとは想像もできませんでしたが、社長のご厚意で自分たちの拠点を持つことができ、ここからフリーライフの活動は急加速していくのでした！

2. 地域食堂構想!

フリーライフでは、当法人の三井代表理事の夢であった地域食堂の開設を考えました。ただサロンとして人が集まり会話を楽しむだけでなく、安い料金で食事を楽しむことができる、そんな場所づくりを目指し開所に向けた準備に取り掛かりました。事務所自体数年空き家状態であったため、建物自体に傷みが見られており、場所によっては修繕が必要な状態でした。そのため素人ではできないところは業者さんにお願いをし、自分たちで出来るところは自分たちで仕事が終わってから集合し、ペンキや漆喰を塗る作業や掃除を地道に行ってきました。最初はメンバーも慣れない作業で上手くペンキも塗れない状態でしたが、そこはセンスの良いメンバーがめきめきとコツを掴み、職人も顔負けするほど綺麗な仕上がりで作業を進めていきました。またメンバーの家族などたくさんの方の協力で事務所をきれいに片づけ、町の補助金も活用し立派な食堂が出来上がりました。



3. 食事作りは最強のボランティア

環境作りとともに、食事を作るための人の検討も行ってきました。何回でも言いますが、お金の無い団体が人を雇える訳もなく、また自分たちでもお客様に提供できるような料理を作れる訳もなく誰に料理を作ってもらうか知恵を絞りました。そこで出た案が、銀河サロンで月に1回料理を作り提供してくださっている最強の主婦軍団にボランティアさんにお願いしてよう！という案でした。そこで銀河サロン開始以来、ボランティアさんたちに信頼されている三井代表理事を筆頭にボランティアさんたちにお願いし、コンビニや他の料理店とは違い、「家庭の味」をモットーに料理を作って頂けるようになりました。（感謝！）

メニューは火曜日がスパイスの効いた「カレーライス」。水曜日はボランティアさんが毎回工夫を凝らした「日替わり定食」。

金曜日がごだわりのたれを使用した「豚丼」と「天丼」。どのメニューも500円ととてもリーズナブルな設定になっております。もちろん食事だけではなく、サロンなのでコーヒーを飲みに来たり、持ち込みでゆっくりとした時間を過ごされてもOKです！



4. これからも皆さんと一緒に！

私たちの夢は少しずつではありますが形になってきております。もちろん物語は始まったばかりで問題も多くあります。ただ私たちは簡単に諦めません！フリーライフに賛同してくださっている方々支えがあってこそそのフリーライフです。町民の方々の思いも大切にしながら今後も頑張っていきたいと思います！



全道グループホームスタッフ研修会を終えて

テラスハウスぼのぼの 前田ひとみ

9月10日、上記の研修会に参加してきました。170人の参加者で、会場は熱気に溢れていました。気持ちを楽にするためにと、頭に浮かぶ四文字熟語を1分で3個書き出して下さいと言われ、普段使っていない部分の脳をフル稼働して出した3つ。【四面楚歌】【弱肉強食】【支離滅裂】。さてこれには何の意味があるのでしょう。答えは一番最後で。皆さんも一緒に考えて下さい。もう一つ。普段の自分を考えてみようというアンケート。読んでマルを付けていくだけのものなのですが、マルを付けていくたびに自分の嫌な面が見えて反省しきりでした。

講演では、伊達地域支援センターのグループホームについての話があり、日々の生活の例を挙げて下さいました。脳性麻痺・統合失調症・知的障害・ダウン症などの方の話で、記憶に残ったのが、ダウン症の方が認知症になると他の方よりも進行が速いという言葉でした。話の中で、利用者さんの状況に合わせて支援が出来たらいい、本人が嫌だというのを認めて受け止めるか。またそれをどのように持っていくかなどの判断が難しい。正当な理由があつても理解されているかどうかが、虐待と支援の違いになること。不適切な対応の支援かどうか日々確認することが大切。みんなで係わるとき、人それぞれ見方・考え方方が違うということを知っておくことが大切で、スタッフ間の話し合いの大切さなど、いつも心に留めておかなくてはいけない言葉ばかりでした。

心に残った言葉 ①聞く → 門を閉ざしてしまえばきこえない。ききたい事だけを聞く。
②聴く → 耳を傾けて目を向けて心できく。利用者さんはこれ求めているということ。

私は「聞く」だったかも・・・反省です。最後の言葉に、既成概念・価値観にとらわれない介護。自分のできる事を日々重ねていき、利用者さんへの感謝を忘れず、希望を叶えるためにできることできないことを考える。この言葉を日々頭に留めていけるよう努力しなければと思いました。

さて。話は最初に戻ります。質問の答えです。

1番目 → 過去の自分 2番目 → 現在の自分 3番目 → 未来の自分 だそうです。
私の人生、今から矯正しなければ・・・

いろは坂

なにさ

姉の家では、季節を問わず窓辺でピンクの花が咲いている。5枚の花びらがラッパの形に集まっていて、中に細かいシベがある。一本の木に大量に群がって咲くさまは、見事なものだ。

「きれいだねー。すごいねー」

見るたびに私が言うものだから、姉は小さな枝を根付かせて鉢に植えてくれた。

「すぐに蕾が出てくるはずだから」

私は、張り切った。家中が、あのピンクで色どられると思うと、うきうきした。植物を育てるのは得意ではないが、愛情をそそげば必ず応えてくれるはずだ。

日当たりの良い場所を選んであちこち鉢を動かしながら、せっせと水をやった。そのたびに液体肥料を与えるのも忘れない。

思つたとおり、幹はすぐに太くなり、青々とした葉に包まれた。

広井 敷子

1年目、ピンクの花が5輪咲いた。得意気に姉に写メを送った。

2年目、10輪咲いた。気を良くした私は、ふたまわりも大きな鉢に植え替えた。土は培養土を買ってきて。これで来年はもっとたくさん咲くに違いない。期待はふくらんだ。

しかし、そこまでだった。それから私は、立派な木にもりもりと葉が茂つても、花はまったく咲かなかつた。

私は、鉢を抱えて姉の家に運んで行つた。

「せんせん咲かないから、返す」

「あらー、観葉植物みたいだね。これは大事にしそうだわ。ほっとけばいいんだよ」

姉は笑つた。幹は、親木よりも太かつた。私は肥満木を育ててしまつたらしい。

鉢がなくなりて広々とした床を眺めて、私は脱力した。

「あんなに世話をしたのに。なにさ」

9月9日に行われた、ひなたぼっこ夜宴会の様子です。今年も大変盛り上りました！来年も皆さんのお越しをお待ちしています♪

